

Tim Ingold(Aberdeen 大学) 連続講演会

2011年4月7日(木) 15:30~18:00 立教大学7号館7202教室

天地世界の中央にある円錐形の小屋 /The conical lodge at the center of the earth-sky world

ディスカッサント：村田純一(立正大学)・河野哲也(立教大学)

2011年4月9日(土) 13:30~18:00 東京大学駒場キャンパス18号館ホール

シンポジウム「<生きること/つくること>としての建築」

パネリスト：Tim Ingold・塚本由晴(アトリエ・ワン)・平田晃久(平田晃久建築設計事務所)

ディスカッサント：池上高志(東京大学)・関博紀(東京大学)

Tim Ingold：1948年生まれ。アバディーン大学(英)社会人類学教授。生態心理学、生物学、考古学、芸術学をクロスオーバーする学際的な人類学研究を精力的に展開し、晩年のエドワード・リードに大きな影響を与えたことでも知られる今日最も注目すべき思想家の一人。著書に *The Perception of the Environment: Essays in Livelihood, Dwelling and Skill*, Routledge, 2000、*Lines*, Routledge, 2007 など。2011年4月19日には今回の講演内容も含まれた最新刊 *Being Alive: Essays on movement, knowledge and description*, Routledge が公刊される。

2011年4月11日(月) 16:30~19:00

東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボレーションルーム1

点、線、対位法：環境から流動空間へ /Point, line, counterpoint: from environment to fluid space

ディスカッサント：野中哲士(吉備国際大学)・柳澤田実(南山大学)

2011年4月12日(火) 17:00~19:00 南山大学名古屋キャンパス B22

生に向かう人類学 /Anthropology comes to life

主催：科学研究費補助金「生態学的現象学の技術哲学的展開」(基盤B、研究代表者：村田純一)、「生態学的なコミュニケーション論と社会的アフォーダンスに関する実証哲学的」研究(基盤B、研究代表者：河野哲也)、東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)、南山大学人類文化研究所

*事前登録不要・使用言語英語(翻訳講演原稿配布)*連絡先：河野哲也(tetsuyakono@rikkyo.ac.jp)